

第14回 WDAI 定例会

「デジタルとアナログの融合」

2023/10/9 (月・祝) | ハイブリッド開催 (zoom オンライン or 東京会場) | 10:00-12:30

※スピーカーは全員オンライン講演の予定です。会場参加の場合もスクリーンにての視聴となります。

【特別講演】

笹田雄也先生

福岡天神ささだ歯科 開業

(所属学会・資格)

日本歯周病学会・専門医

アメリカ歯周病学会

ITI Fellow

日本臨床歯周病学会

日本口腔インプラント学会



(写真はイメージです)

「口腔内スキャナー (IOS) によるインプラント補綴」

【会員発表】



吉村麻里奈先生

歯科医師

吉村歯科医院

上顎洞底挙上術のファーストケース



古舘美弥先生

歯科技工士

昭和大学歯学部

技工室

フルデジタルワークフローによる審美領域の
インプラント上部構造製作における CAD テクニック
-additional scan technique の活用-



森田有咲先生

歯科衛生士

上浦歯科クリニック

デジタル技術を活用した顔貌主導修復の症例

受講対象

➤ 女性歯科従事者 (歯科医師、歯科衛生士、歯科助手、歯科技工士)

受講料

➤ WDAI 会員 : 無料

➤ 会員以外 : 無料 (WDAI 会員にスポット登録いただくことで無料でご参加いただけます)

お申込み先

➤ 2次元コードよりお申込み願います。「東京会場参加」が「オンライン参加」をご選択願います。

➤ 「東京会場参加」は、定員(40名)になり次第、締切とさせていただきます。

お問合せ先

➤ WDAI 事務局 | mail : info@wdai.jp | 9:30~17:30 (平日) メールでの返信となります。
ご返信ご回答は翌日以降になる場合もあります。



プログラム

10:00 開催の挨拶

会長挨拶 (WDAI 会長 立川敬子先生)

10:05 会員発表 1 (吉村麻里奈先生)

10:25 会員発表 2 (森田有咲先生)

10:45 会員発表 3 (古舘美弥先生)

11:05 休憩

11:15 特別講演 (笹田雄也先生)

12:15 終演の挨拶

WDAI 総会 (2023 年度 WDAI 総会も併せて開催させていただきます)

12:30 終了

※終了時間や内容が変更となる場合もございます。

ご講演要旨

笹田雄也先生 (歯科医師)

「口腔内スキャナー (IOS) によるインプラント補綴」

- IOS (口腔スキャナー) の選択基準
- IOS を最大限に活用する為には
- IOS の本質を知る。「精度」、「スキャンエリア、スキャンズパン」など
- IOS を用いるためのコツ。「スキャンストラテジー」、「IOS が受ける環境要因」、「歯肉縁下への対応」、「IOS でのバイトスキャン」、「インプラント印象におけるスキャンボディの留意点」など
- 審美性を向上させる為の IOS テクニック。「**IEOS テクニック** vs カスタム印象コーピングテクニク」
- 当院での IOS を用いた取り組み。「なぜ臨床に IOS を積極的に用いるのか」、「歯科衛生士、アシスタントの方に知ってほしい IOS の特長」

などを、講演時間の許す範囲で皆様にシェアさせていただきます。



吉村麻里奈先生 (歯科医師)

「上顎洞底挙上術のファーストケース」

- 一般に口腔外科領域で長く研鑽を積んでいない歯科医師にはサイナスリフトという小手術は比較的ハードルが高いと思われる。そのため、基礎的な振り返りを行い、比較的ジグナーにも取り組みやすい症例を選択、安全な器具、術式を用いて手術を行った。上顎洞という術野の解剖学的な複雑さをデジタル画面からどうとらえ、アナログな術式に落とし込むかはやはり経験値であるが、そのなかでも様々な工夫や前準備を行った内容について発表します。



古舘美弥先生 (歯科技工士)

「フルデジタルワークフローによる審美領域のインプラント上部構造製作における CAD テクニック –additional scan technique の活用–」

- IOS を用いたインプラント補綴治療において 3shape dental system の追加スキャンツール機能を最大限に応用し、プロビジョナルレストレーションのエマージェンスプロファイルの形態をインプラント上部構造へ転写するデザイン手法について解説する。



森田有咲先生 (歯科衛生士)

「デジタル技術を活用した顔貌主導修復の症例」

- 当院では CBCT、口腔内スキャナ、CAD/CAM、3D プリンターなどのデジタルツールを使用し診療を行っております。当院で取り組んでいる「デジタル技術を活用した顔貌主導修復」を症例を通してご紹介させていただきます。

